

<2018年6月14日発表>

「太宰府天満宮」をはじめとする太宰府エリアの玄関口 太宰府駅を大幅にリニューアルします！

- 西日本鉄道(株)では、本年12月の竣工を目指し、太宰府駅を1991年以来27年ぶりに大幅にリニューアルいたします。
- 太宰府エリアの玄関口である太宰府駅は、1日約1万2千人のお客さまにご利用いただいております。太宰府市の観光入込客数[※]はインバウンドを中心に増加傾向にあり、2016年度には912万人に達しました。
- 当社では、これまで太宰府エリアへ快適で楽しく移動していただくことを目的として、2014年より太宰府観光列車「旅人」や太宰府ライナーバス「旅人」の運行に取り組んできました。
- 当リニューアルでは、『町との共栄駅』というコンセプトのもと、駅の内外装に太宰府の要素を散りばめることで、駅に着いた瞬間から太宰府を訪れた雰囲気を感じていただけるような設えにします。併せて、利便性向上のため駅機能を整備します。
- 駅の内外装には、太宰府天満宮をイメージした朱色を用い、太宰府を訪れる期待感を醸成します。また、太宰府市の花である「梅」をあしらった照明やベンチを設置し、内コンコースには太鼓橋をイメージした欄干を新設します。併せて、トイレや授乳室などの駅機能の集約、女性トイレへのパウダーコーナー新設のほか、案内サインにおけるピクトサインの活用、多言語表記を整備したデザインの統一、駅前広場のバス停に上屋の新設を行い、利便性の向上を図ります。
- また、太宰府駅のリニューアルに加えて、太宰府線の西鉄二日市駅の一部および西鉄五条駅のホームの柱を朱色にするなどし、太宰府駅を含む太宰府線全体で、お客さまの太宰府を訪れる期待感を更に盛り上げます。
- 当社では、今後も地域と連携し、魅力ある“沿線まちづくり”に取り組むとともに、安全で快適な鉄道サービスの提供に努めてまいります。

※福岡県観光入込客推計調査より出典



■太宰府駅リニューアルの概要

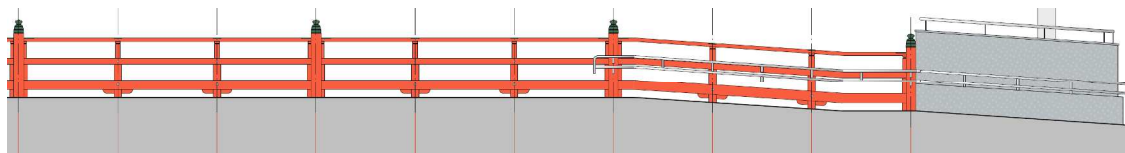
【コンセプト】 町との共栄駅

【概要】

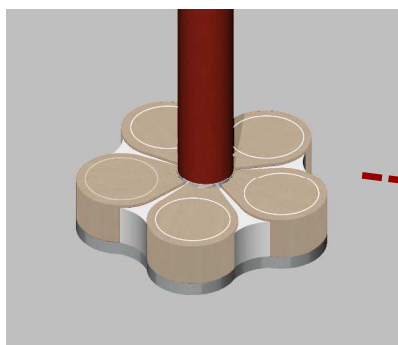
①太宰府を訪れたお客さまを出迎える演出

駅舎は天満宮をイメージした朱色をまとった内外装とし、おもてなしの意図を込めた暖簾や、ホーム上には太鼓橋をイメージさせる欄干を新設します。また、「梅」をあしらった照明やベンチを設置し、太宰府を訪れる期待感を醸成します。

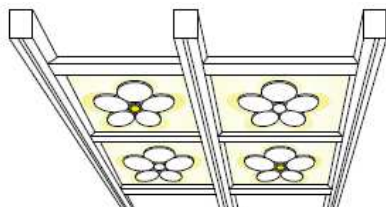
〔欄干イメージ〕



〔ベンチイメージ〕



〔照明イメージ〕



②駅機能の整備

- ・駅中の授乳室をトイレ部分へ移設し、ご利用しやすい環境を整えます。また、女性トイレにパウダーコーナーを新設し、木目を活かした内装で清潔感の向上を図ります。
- ・案内サインの設置箇所を見直すとともに、ピクトサインの活用、多言語表記の整備を行うことでデザインを統一し、利便性を追求します。
- ・駅前広場のバス停に上屋を新設し、バス待ち環境およびバスと電車の乗り継ぎ利便性の向上を図り、雨に濡れずにご利用いただけるバス停となります。



〔トイレ内装イメージ〕

【工事額】 約2億6千万円

【スケジュール】 2018年8月着工
2018年12月竣工(予定)

本件に関するお問い合わせは、西鉄お客さまセンター(TEL:0570-00-1010)まで